

| No. | 指摘箇所ページ数 | 章-項 | ご意見・ご提案の内容(一部抜粋) | ご意見に対する市の考え方 |
|-----|----------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | | | 市民に対してはどういった方法で情報を伝えていくのか。 | 本体計画と概要版を作成することとしており、概要版については町内回覧にて市民への周知を行う。併せて、市報にも特集を載せる。HPにも掲載する。 |
| 2 | | | 回覧という形ではなかなか内容まで見ることはないと思う。他の方法で周知などは考えていないのか。 | 出前講座のメニューにも入れており、すでに後期計画についても申込みをいただいている。こういったものを活用して、出来るだけきめ細かに対応を行っていきたい。 |
| 3 | | | 計画としてはよくできているが、あまりにも大まかではないか。たとえば今年は何をやるのか、といったことなど、はっきり伝わらない。今年は交通安全に重点的に取り組みましょう、など具体的に踏み込むことも必要ではないか。それがないと市民にもなかなか浸透しないのではないか。 | 指摘のとおり、総合計画は市政全般にわたる計画であるため、内容も非常に広範にわたり、総花的にならざるを得ない部分もある。今回は、重点施策というものを設定したことでできるかぎりわかりやすい作成に努めたところである。また、個別の事業についてはそれぞれの実施計画や行動計画といったものを作って行くので、その中で進めていく。総合計画はそういった全体の方向性を定めたものと理解していただきたい。 |
| 4 | | | 計画の内容を見ると、新たな取り組みではなく、これまでにやってきた取り組みが羅列されているように感じる。新たに取り組むことはないのか。それと、継続事業についても、今後どれだけ上乗せを行うのか、といったことが見えてこない。 | 新しいものが見えないという指摘について、後期計画は当然前期を踏襲したのものもかなりあるため、何がどう新しいんだという部分が見えにくいのは指摘のとおりかと考える。今後は、具体的に何をいつやるんだという3年間の実施計画を作って行くため、その中で毎年ローリングを行いながらスケジュールも示していけるのではないかと思う。それを基に予算化も行って行く。もう少し見える形を作っていかねばとは思っている。 |
| 5 | | | 地域別まちづくり方針について、もう少し絞込みを行ったほうがいいのではないか。西部では港、東部では観光、南部では豊かな農産物など市民にわかりやすい方向性を示し、その下で細かな施策を打って行くと、そういったわかりやすい示し方もあるのではないか。あれもこれもではなく、明確なポイントを示したほうが市民にわかりやすいと思う。また、予算についてもそういった方針を反映させていただきたい。 | この基本計画は、基本的な市の方向性を示したものだ。これをもとに今後個別計画の中で予算への反映なども行って行くこととなる。本計画が予算ときちんとリンクしなければ意味がないため、実施計画の中できちんとリンクさせていきたい。また、今箇所付けの話もあったが、地域ごとに何を優先してやるのかということは精査しながら予算配分もしていかなければならないし、当然市長の施策との絡みもあるため、毎年度の実施計画の中できちんと進めていきたい。なお、実施計画策定の際には改めて議会にも説明させていただく。時期的には、予算編成とも絡んでくるため未定だが、特に本年度はこの後期計画を先行して作成し、その後に実施計画を作る形となるため見えにくくなっている点を了承いただきたい。 |
| 6 | | | 施策評価の取り組みについて、今後の予定等を聞きたい。 | 評価にはいくつかの段階があり、来年度からやろうとしているのは事務事業評価である。その次の段階として施策、政策の評価がある。来年度には全事務事業評価を行う予定で準備等を進めているが、その先には施策・政策の評価へとつなげていきたいとの目標も持っているところである。 |
| 7 | | | 行政が縦割りになっているような印象を受ける。市が目標としているのは、市民が幸せになることを目的としたうえで行政のあり方だから、縦割りではなく、職員全員が市民のために何が出来るのかを考えるような組織となしてほしい。 | 最近では部局の枠を超えて連携が必要な仕事も増えてきており、適宜横断的なプロジェクトを作って進めるような形をとっている。特に、定期的に次長会というものを開催し、部局を超えた議論も行っている。このような形で縦割り行政の弊害をなくすという取り組みは現在も行っているが、さらにそういった取り組みを推進したいと考える。 |
| 8 | | | 庁舎の耐震化やスポーツ施設の新設など、何年までに何を作ります、といったように市民の関心が高まるような目玉は出せないのか。 | 確かにいつまでに何をやるというようなことが書ければわかりやすい。ただ、裏づけされる予算などがなければなかなか記載は難しい。庁舎については、耐震性がないということは事実だが、ではいつまでにやるんだという議論が現時点ではなされていない。しかし、時期的にもそろそろ始めていかなければならないとは思っているところ。しかし、そういった議論を経て具体的な費用等が見えてこない限り、時期を明示することは出来ない。スポーツ施設についても大まかには記載してあるが、具体的には実施計画の中で検討していくこととなる。承知のように、市では環境センター建設、それから学校耐震化というかならずやらなければいけない課題を抱えている。今後5カ年における投資的経費のほとんどはそこに費やす形になるため、その中で行政改革等も行いながら必要な事業を進めていく。 |